



2025年3月25日

ENEOS株式会社

各位

当社石油製品の生産・供給体制の再構築について

当社（社長：山口 敦治）は、潤滑油を中心とする高付加価値石油製品の生産を行っている横浜製造所（所長：秋田 昌稔、神奈川県横浜市）における潤滑油および燃料油の生産を、2026年1月から2028年3月までを目途に段階的に停止することを決定しましたので、お知らせいたします。

当社は、第3次中期経営計画で「確かな収益の礎の確立」を実現することを掲げており、基盤事業である石油精製販売事業においては、安全操業および安定供給を大前提として、サプライチェーン全体の競争力強化に取り組んでおります。

国内石油製品の構造的な需要減退やアジアを中心とした国際競争の激化等、石油精製販売事業を取り巻く様々な環境を総合的に勘案した結果、製油所・製造所の生産・供給体制の再構築が急務と判断いたしました。なお、横浜製造所での潤滑油の生産は、当社の既存の生産拠点等への移転を検討しております。

当社は、グループの長期ビジョンにおいて、「エネルギーと素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立への挑戦を掲げており、今後も安定供給を前提とした安全操業に努めてまいります。

以上

<横浜製造所の概要>

所在地 : 神奈川県横浜市神奈川区子安通三丁目390番地
操業開始 : 1922年
所長 : 秋田 昌稔
従業員 : 85名（2025年3月1日現在）
敷地面積 : 38万㎡
潤滑油生産能力 : 126千KL/年
グリース生産能力 : 3,900トン/年